

おうしゅう市議会だより

No.80

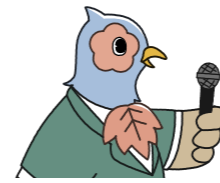
2月定例会

定例会後
年4回発行

発行日/令和8年5月14日 発行/奥州市議会

主な内容

新議長あいさつ	2
議員の紹介	3
令和8年度予算の審議	7
一般質問	9



高校生から Message to the future. ひとこと

質問事項

- 1 将来の夢（職業など）とその理由を教えてください。
- 2 奥州市の一番好きな場所とその理由を教えてください。
- 3 あなたの考える理想の奥州市。「こういうまちにしたいしてほしい！」という思いをぜひ教えてください。

- 1 ITエンジニアになることです。地方でも快適に暮らすことができる仕組みを作りたいからです。
- 2 家の近くの林道です。名所ではありませんが、よく散歩で通る馴染みの道で、夜空の星や澄んだ空気がとても心地良いからです。
- 3 自然の豊かさや静かな環境はそのままに、ITの力で、買い物や医療、交通の不便を減らし、若い人も高齢の方も笑顔で暮らせる町にしたいです。

- 1 警察官になることです。地域の安全や人々の安全を守り、人に信頼してもらえるようになりたいからです。
- 2 水沢駅周辺です。駅周辺は学生に対して優しく思いやりを持って接してくれる店が多い場所だからです。
- 3 若い人が学習できるスペースを増やしたり、ちょっとした休憩スポットをつくったりするなど集まれる場所を設置して、若者やお年寄りに優しいまちにしてほしいです。空き家を活用して、空き家が減るようなまちにしてほしいです。

得意科目は
数学！

またま はん な
前田 帆南さん
(杜陵高等学校奥州校普通科2年)

部活は
硬式野球部！

きくち しせい
菊地 至誠さん
(水沢高等学校普通科3年)

表紙紹介

衣川ふるさと自然塾で遊ぼう

衣川小学校大森分校の廃校後、宿泊・体験施設としてリニューアルされています。自然の中で、コテージに泊まったり、ツリークライミング®やイワナ釣りなど、様々なイベントを楽しめます。元の校庭は原っぱになっていて、森の仲間たちも大はしゃぎ。次は何をして遊ぼうかな？

表紙イラストのスマホ待ち受け画像をダウンロードできます。詳しくは奥州市議会ホームページへ。



あ と が き

新しいメンバーでの編集がスタートしました。議会の見える化から「伝わる」議会への深化、住民参画の推進による広聴・広報の充実について実践できるよう、新たな意見を取り入れ計画的に工夫を重ねていきたいと思います。(佐々木 友美子)

議会広聴広報委員会

〔委員長〕 佐々木 友美子 〔副委員長〕 佐藤 美雪
 〔委員〕 及川 泰輔 小野寺 勝 岩淵 高紀 佐藤 克也
 千葉 典弘 三浦 秀夫 高橋 善行 飯坂 一也

奥州市議会 ホームページ

奥州市議会

検索



FMラジオ「電波に乗せて！奥州市議会」放送中！

奥州エフエム (77.8MHz)
隔週木曜日 15:35 頃～15 分程度
(再放送 翌週火曜日 18:30 頃～)



音訳・点訳版議会だよりを希望の方は、
議会事務局までご連絡ください。

奥州市議会公式
Facebook



奥州市議会公式
X(旧Twitter)



奥州市議会公式
Instagram



次の定例会は6月5日(金)の
開会です。



おうしゅう市議会だより

No.80

令和8年5月14日

発行/奥州市議会(岩手県奥州市水沢大手町一丁目1番地)
電話/0197-34-1575(直) 編集/議会広聴広報委員会
印刷/川口印刷工業株式会社

UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

新議長あいさつ



議長
すがわら よしかず
菅原 由和

この度、奥州市議会議長に就任いたしました菅原由和でございます。前任期に引き続き重責を担うこととなり、身に余る光栄に存じますとともに、その使命と職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

現在、本市は人口減少の進行をはじめ、市民生活に直結する様々な課題に直面しており、議会には執行機関の監視にとどまらず、地域課題の解決に主体的に関わり、将来を見据えた的確な意思決定が求められております。

とりわけ、議会は言論の府であり、合議制の機関であります。議会基本条例の理念を踏まえ、市長と対等の立場に立つて政策ごとに是非々の議論を尽くし、最適な結論を導くことが責務であり、そ

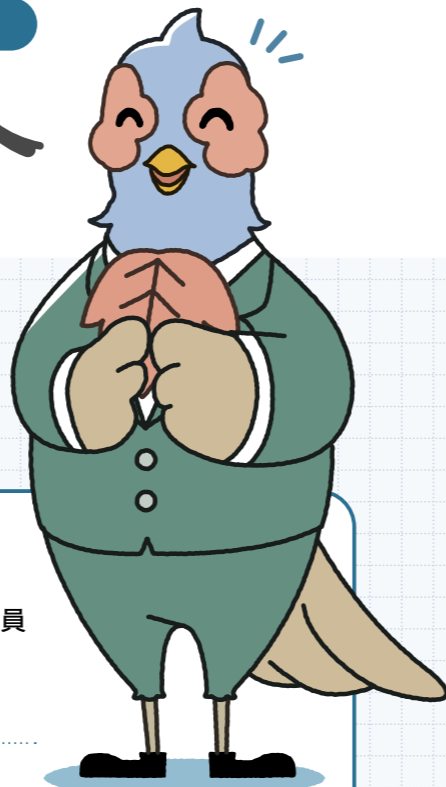
の積み重ねが議会の質の向上につながり、ひいては市政の前進と市民の信頼の確保へと結びつくことを確信しております。

そこで今任期におきましては、議会の見える化から「伝わる」議会への深化、住民参画の推進による広報・広聴の充実、政策提言機能の実効性の向上、議員間討議の充実、議員のなり手不足対策を基本として議会改革を着実に進めてまいります。具体的な取り組みは議長マニフェストとして明確にお示しし、チーム奥州市議会一丸となって不断の努力を重ね、住民福祉の向上と、市民に信頼され存在感のある議会の実現に向け、力を尽くしてまいります。

何卒、市民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

議員の紹介

奥州市議会



▲ キジロク君

奥州市議会は、令和8年3月19日から新たな任期がはじまりました。議員28名が所属する会派や委員会等のほか、市民に伝えたい想いを紹介いたします。今後4年間どうぞよろしくお願いいたします。

表記の紹介

- 総務 = 総務常任委員会
- 教育厚生 = 教育厚生常任委員会
- 産業経済 = 産業経済常任委員会
- 建設環境 = 建設環境常任委員会
- 議運 = 議会運営委員会
- 広報 = 議会広聴広報委員会
- 監査 = 監査委員

- 行政組合 = 奥州金ヶ崎行政事務組合議会議員
- 競馬 = 岩手県競馬組合議会議員
- 後期 = 岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員
- 委員長 = (長) 副委員長 = (副)
- ()内の数字は就任時点の年齢

奥州市の基幹産業である農業を守るため、新規就農者への積極的支援、地産地消・地産外消の推進に取り組み、農業と食が誇れるまちを目指してまいります。安心で安全な住環境を整備し、住み続けたいまち、選ばれるまちづくりに取り組んでまいります。

市民の皆さんの声を聞き、現場を見て、一緒に考え、皆さんの声を市政に反映させてまいります。

玲奥会
岩渕 英浩 議員 (47)
建設環境・行政組合
当選回数 1回

この度、新人ながら議員バッジを預かることとなりました。感謝と共に身の引き締まる思いです。奥州市にも初めて参政党の議員が誕生しました。参政党は「政治に参加する党」です。「投票したからよろしくね」ではなく、どうしたらこの奥州市がもっと良くなり、ひいては日本が良くなるのか、皆さんと共に考え、動いて行きたいと思えます。ご指導ご鞭撻の程、よろしく願いたします。

奥州ノート
及川 泰輔 議員 (47)
建設環境・広報
当選回数 1回

五つの市町村が合併して奥州市となつてから二十年が経ちましたが、まだ心の溝は埋まっていないと感じています。数々の課題に対し、一つ一つの施策を関連付けて、相乗効果を狙ったまちづくりを進めていきたいと思っております。多角的かつ長期的な視点で、課題を先送りせず、危機感を持って取り組みます。

市民の皆さん、ぜひ一緒に「これからの話」をしていきましょう。

新奥会
岩渕 高紀 議員 (48)
総務・広報・行政組合
当選回数 1回

●教育支援の充実
・学校と地域の関わりを深め、地域全体で子どもたちを育てる環境づくりに取り組みます。
・不登校児童・生徒に寄り添い、適切な支援を届け、学校区単位に支援施設の設置ができるよう取り組みます。

次の世代に、奥州市のより良い未来をつなぐことができるよう頑張っております。

新奥会
小野寺 勝 議員 (47)
教育厚生・広報・行政組合
当選回数 1回





玲奥会
佐藤 克也 議員 (50)
産業経済・広報
当選回数 1回

すべての世代の皆様が安心して暮らせる「希望あふれる奥州市」を目指して。このことを基本理念として、市民の皆様の声をしっかり聞き、市政発展のための4つを重点的に取り組んでまいります。

- 観光で地域の活力を発展させる
- 地域の活力を支える観光・農業・商工業連携の推進
- 次世代につながるまちづくり
- 障がい者・高齢者福祉・地域医療の充実



新奥会
佐藤 永匡 議員 (57)
産業経済・議運
当選回数 1回

奥州市で活動している公益活動団体、振興会、スポーツ団体など、小さなコミュニティが輝くことで、魅力あるまちへとつながります。このような頑張っている団体を応援します。

世代を超えたつながりや、デジタル技術を生かし、夢や希望が持てる奥州市にするため努力してまいります。市民の声が届く、市民の願いが叶う、市民の夢が膨らむまちになるよう行動してまいります。



奥和会
菊地 淳 議員 (61)
産業経済・行政組合
当選回数 1回

- 担い手確保に対する支援の充実、物価高騰に呼応した支援等農業振興及び所得向上に取り組めます。
- 生活に欠かせない水道事業の安定化と道路の安全や利便性向上のための整備促進等インフラ対策に取り組めます。

これらの想いと併せ、市民の皆様のご意見・要望に耳を傾け市政へと反映させ、豊かで安心して暮らせる奥州市の未来を築いてまいります。



奥和会
千葉 典弘 議員 (64)
教育厚生・広報・競馬
当選回数 1回

市内で安心して出産できる環境づくりを進めたいと考えています。産科・小児科の確保は難しいものの、地元で産めることは大きな安心となり、若者の定着にもつながります。行政には諦めず取り組みを続けてほしいと思います。

また、子育て環境として屋内遊び場の整備や誘致、さらに学力向上と、進むグローバル化に対応できる人材育成のため、英会話教育の充実を図ります。



奥和会
門脇 芳裕 議員 (58)
教育厚生・議運
当選回数 2回

今後とも人口減少が加速すると思われる中、建物は長寿命化へ力を入れず、「どこに」「どのよう」な施設が必要かを検討すべきと考えます。

なかでも病院は健康と命を守る重要な施設です。ある程度の先を考えた専門医と規模、そして建設地は将来の居住地を検討した上で、利便性の良い場所を提案していただきたいと思います。



奥和会
佐々木 友美子 議員 (62)
総務・広報・議運
当選回数 2回

「人と地域が優しく笑顔でつながってつくるまちづくりを」人(点)と人(線)、人と地域(面)、地域と地域(立体)、関係交流人口(交差)が創り出す無限の可能性を、教育・福祉・文化を中心に市政で伴走支援をしていきたいと考えています。特に、地域の創造的な活動や、若者の発想と行動を、大切に守り育て発信し、ともに歩んでいく活動をしていきたいと思えます。



奥和会
高橋 善行 議員 (61)
建設環境・広報・行政組合
当選回数 2回

本市の基幹産業である農業の振興と、近年顕在化してきているクマ問題など鳥獣被害対策に努力していきます。

また、地域医療施設の充実維持に努めつつ、新医療センターの早期実現に向けて合意形成できるよう努力していきます。



新奥会
小野 優 議員 (48)
教育厚生・議運・競馬
当選回数 3回

人口減少が進む中で、その対策として情報化(DX)の推進は必要かつ重要な取り組みだと考えます。人手の不足を技術で補っていかなければなりません。それは行政だけでなく、地域づくり・まちづくりも同様です。そして議会改革の流れを止めてはなりません。しっかりと議論を交わし、真に市民生活の向上につながる議会づくりに、これまで以上に心血を注いでまいります。



新奥会
三浦 秀夫 議員 (69)
産業経済・広報
当選回数 1回

人口減少・高齢化が進む中でも、誰もが安心して住み続けられる地域づくりを目指します。

農泊や体験交流を生かし、地域の魅力と人のつながりを育み、交流人口の拡大を図りながら、活力あるまちづくりを進めます。

現場の声を大切に、自らも日々研さんを重ね、一步ずつ着実に取り組んでまいります。



日本共産党
佐藤 美雪 議員 (45)
教育厚生・広報
当選回数 2回

- 市民のいのちと健康を守る新医療センターの早期建設と子どもを産める体制づくりに全力を尽くします。
- 学校給食費の完全無償化や放課後児童クラブの待機児童ゼロに取り組み、子育て環境の整備を頑張ります。
- 子どもから高齢者まで、誰もが生き生きと自分らしく過ごせるまちづくりを目指します。



新奥会
及川 春樹 議員 (56)
建設環境・議運・行政組合
当選回数 3回

奥州市を魅力あるまちに作り上げるには良質な雇用を作り出す必要があります。産学官連携による産業振興が必要不可欠と感じます。また、地域に眠る資源を生かすため、イノベーションによる社会的意義のある新たな価値を創造し、社会的変化をもたらす自律的な人組織、社会の幅広い変革ができる土壌を作り、市民の皆さんが活躍できる地域づくりに努めたいと思えます。



新奥会
高橋 晋 議員 (63)
総務
当選回数 3回

奥州市は市政20年の節目を経て、将来像を共有しながら「何を残し、何を变えるか」を決断すべき局面にあります。

人材や文化的資源に恵まれた地域の力を最大限に生かし、医療・教育・産業の課題に正面から向き合い、議員として全力で取り組みます。

将来世代に負担を先送りせず、地域の歴史と文化を大切にしながら、奥州市の未来に貢献してまいります。



奥州ノート
穴戸 直美 議員 (45)
教育厚生・議運・行政組合
当選回数 2回

市政の透明化と、市民の声が届く開かれた市政を大切にします。対話を重ね、情報を分かりやすく見える化し、市民が納得できる行政を目指します。あわせて、人づくりの基盤である子どもたちの学びと育ちを地域全体で支え、安心して子育てできる環境づくりに取り組みます。さらに、将来に責任ある医療と福祉の在り方を見据え、一人ひとりの暮らしに寄り添う政治を進めていきます。



玲奥会
菅野 至 議員 (50)
総務・議運
当選回数 2回

まちづくりでは、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続けられる奥州市を目指し、暮らしの不安を一つひとつ減らしながら、地域の力を未来へつないでいきます。農林業の振興では、市の基幹産業として発展させていくとともに、地域の暮らしと風景を守る視点を大切に、次の世代へつなげる仕組みを作っていきます。私は、現場の声を聞き、課題を掴み、政策につなげる活動を続けます。



奥和会
高橋 浩 議員 (69)
産業経済・行政組合
当選回数 3回

奥州市議会議員として3期目を迎えるに当たり、これまでの2期8年の経験を生かし、市政のさらなる発展に尽くしてまいります。とりわけ中山間の代表として農林業の活性化を図り、スマート農業の推進による持続可能な地域づくりに取り組みと共に、商工業の継承や人材育成を進め、奥州市の物づくりを支えてまいります。



日本共産党
千葉 敦 議員 (68)
総務・議運・行政組合
当選回数 4回

コロナ禍以降、物価高騰、そして中東情勢悪化による原油輸入減で経済低迷が予想されています。市民の暮らし、商工業・農業等の地域経済を支える施策を求めていきます。

市立医療機関の存続・充実及び市内で普通分娩できる方策を希求します。

国保税の引き下げ、中学校の学校給食費無償化、年金で入居可能な特別養護老人ホームの増床を目指します。



議長 菅原 由和 議員 (58)
当選回数 5回

議会は、言論の府、合議制の機関として、市民の負託に応える責務を担っています。取り巻く課題が複雑化する中、議員一人ひとりの資質向上を基盤に議会の質の向上を図るとともに、多様な意見を踏まえた丁寧な議論を通じて、将来に責任を持つ意思決定が求められています。これまでの議会改革を土台として、議会の見える化を進め、市民に伝わる議会と住民参画の推進に取り組んでまいります。



玲奥会 おいかわ 及川 佐 議員 (78)
教育厚生 教育厚生 当選回数 4回

地域医療の持続確保は急務です。人口減少により医療体制は一層厳しさを増し、市立病院の赤字も拡大しています。経営改善と役割分担を進め、在宅医療や連携強化が求められます。あわせて空家の増加も深刻な課題です。利活用や除却支援、実態把握と情報公開を進め、安心して暮らせる地域づくりを進めます。



公明党 いいざか 飯坂 一也 議員 (65)
建設環境・広報・議運 建設環境・広報・議運 当選回数 5回

小中学校における暴力・暴言行為が全国で過去最多となり、深刻な状況にあります。子どもたちが安心して学校で学べる環境づくりに尽力します。奥州市全体が良くなるために、各地域の課題を解決していかなければなりません。人口減が進み、かつ施設がなくなっていくことで地域力が失われていく傾向にあります。関係人口の具体化を進め、交流を活発化していく必要があります。



奥和会 かとう 加藤 清 議員 (78)
総務 総務 当選回数 5回

議会の使命は、地方公共団体の具体的な政策を最終決定することにあります。それと同時に、議決を経た政策を行う執行機関の行財政運営や事務処理が適正かつ効率的に行われているかを監視する役割も担っています。住民福祉の向上を目指す議会として、市民の皆様から多様な意見・要望・提言をいただき、対話を重ねることで、開かれた議会を実現したいと考えます。



日本共産党 ちだ 千田 美津子 議員 (72)
建設環境 建設環境 当選回数 4回

「みんなが集い、笑顔あふれるまちに。コロナ禍を経て、笑顔あふれる地域に。」人と人が集える、当たり前の日常を取り戻しながら、安心して住み続けられる、安心して子育てできるまちにしましょう！そのために、私も全力をあげて頑張ります。



奥和会 なかにし 中西 秀俊 議員 (65)
建設環境・議運 建設環境・議運 当選回数 6回

人口減少が進む中でも、地域のともしびを消さないために、振興会の皆さまと手を取り合い、一人ひとりの暮らしに寄り添った取り組みを進めます。人が集い、支え合える地域の力を、次の世代へつないでまいります。あわせて、農・商・工業の魅力を高め、挑戦する人を後押ししながら所得向上を実現します。働く場と誇りを育み、奥州に生きる喜びとともに築いてまいります。



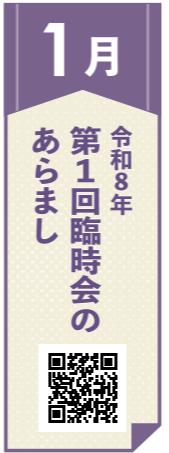
日本共産党 こんの 今野 裕文 議員 (68)
産業経済・後期 産業経済・後期 当選回数 6回

在宅医療が叫ばれていますが、その在り方について、具体的な構想が見えてきません。その中で、まごころ病院の取り組みは、一つの答えではないかと思えます。周辺農村部は荒廃し、高齢者の一人暮らしが空き家の増加以上に増えています。この流れを止めたいと願ってききました。この実態と向き合い、「地域の暮らしやすさ」を維持できる方策について少しでも取り組んでいきたいと思えます。

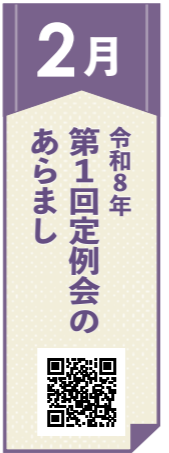


副議長・公明党 あべ 阿部 加代子 議員 (64)
産業経済・行政組合 産業経済・行政組合 当選回数 6回

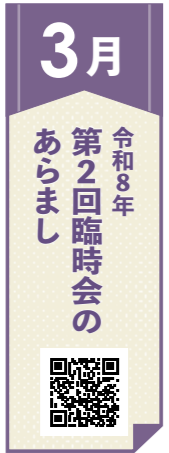
市民の皆様を負託を得て、奥州市議会6期目の当選を果たすことができましたことに感謝申し上げます。「一人の声を大切に」をモットーに活動してまいります。これからも、小さな声を行政に届け、多様な意見や考えが尊重される「ダイバーシティなまちづくり」に取り組み、誰一人として取り残されない包摂的な社会づくりを目指してまいります。



1月 令和8年 第1回臨時会のあらまし
第1回臨時会は令和8年1月16日に開催され、市長からは令和7年度一般会計補正予算など3件の議案等が提出され、いずれも原案のとおり可決等しました。



2月 令和8年 第1回定例会のあらまし
第1回定例会は令和8年1月27日から2月10日まで開催され、市長からは条例の制定、令和8年度一般会計予算など計41件の議案等が提出され(追加議案を含む)、いずれも原案のとおり可決等しました。



3月 令和8年 第2回臨時会のあらまし
第2回臨時会は令和8年3月26日から3月27日まで開催され、市長からは条例の一部改正など計14件の議案等が提出され、いずれも原案のとおり可決等しました。

令和8年度予算の審議 一般会計予算



【質問】 まちづくりアカデミージュニアにおける若い世代の参加状況は。

【答弁】 今年度は中学生・高校生を対象として実施したが、学校行事や部活動との調整が難しく、十分なカリキュラムを組むことができなかった。今後は対象を原則高校生とし、参加しやすい内容や日程に見直すことで、若い世代の主体的な参画につなげていく。

【質問】 高齢者デジタルサポーター認定者84名の活動状況は。

【答弁】 サポーターは市内全地区に配置されており、各地区センターで受付を行い、スマートフォンの基本操作などの相談対応をしている。今後は、より幅広い支援体制を整えるため、高校生など若い世代をサポート役として活用することも検討していく。

【質問】 老朽化が進む公共施設やインフラの維持管理への対応は。

【答弁】 老朽化した施設の解体や維持管理を迅速に進めるとともに、大規模修繕は個別施設計画に基づき実施

【質問】 施設総床面積は約30%削減する計画で、更新費用は年間約3.6億円不足する見込み。計画が遅れば負担増となるため、将来負担の軽減を図っていく。

【質問】 小中学校で使用を終える約9千台のタブレットの処分は。

【答弁】 国は、端末に使用されているレアメタル等を再利用する考えを示しており、解体作業に障がい者雇用のような視点の考えは無いが、地域の中で循環的な役割も検討する。

【質問】 自動車改造費等助成金の内容は。

【答弁】 自ら運転する車両や同一家族に障がいのある方を乗せて介護に使用する車両の改造費。近隣市町等と同一の1件当たり10万円を限度としている。

【質問】 予算金額で打ち切りではなく、状況を見て補正予算で対応する。

【質問】 奥州湖周辺エリア活用整備推進事業について伺う。どのような展

開を考えているか。

【答弁】 令和7年に奥州湖周辺エリアプロジェクトを推進する設立準備会を11団体で設立し、ワーキンググループを7回実施している。8年3月に推進協議会に移行する。8年度はアクティビティメニューを増やすこと等に取り組んでいく。

【質問】 中小農家への支援策について伺う。

【答弁】 農業機械の購入についての補助は、物価高騰対策として行う。国の補助対象にならない農家への支援は検討していく。

【質問】 地域農業の担い手育成支援事業について伺う。

【答弁】 いわてアグリフロンティアスクール受講助成は3名分を、農業ドローン講習等補助は10名分を見込んでいく。

【質問】 地域の運営を担っている振興会等の人件費に関して、最低賃金上昇の影響は。

【答弁】 地域運営交付金の中の人件費の割合を77.9%から82.6%まで高めた。具体的には30地区合計で3829万7000円を増額した。



佐々木 友美子 議員
奥州みらい



高齢者福祉及び介護事業の現状は

質問 第9期介護保険事業計画のうち、各種サービス情報発信の進捗状況について伺う。

市長 市民が必要とする介護情報は「**けあプロnavi**」を、医療機関・介護事業所連携促進は「**ケア倶楽部**」を活用している。また介護情報基盤整備の準備も進めている。


学校給食費の負担軽減は

質問 国の給食費負担軽減交付金（仮称）の概要と市の対応、また4月実施に向けた準備状況について伺う。

教育長 自治体の施策を国が支援するもので、その基準額は月額5200円。小学校の国基準額を超える金額と、中学校給食費については、保護者負担が増加しないよう検討していく。給食費納入の取り扱いに変更が生じるので、保護者には学校を通じて適時に周知を図っていく。



小学校の給食費の一部を国が支援することになる学校給食費



千葉 敦 議員
日本共産党



※3 ドッグラン運営者との連携を

質問 動物の適正飼育の啓発を進めるうえで、ドッグランの運営者との連携が必要では。

市長 狂犬病予防注射の接種率向上のためにも、施設開設者との連携についても今後検討していく。

遊休農地の活用による羊の放牧支援の周知を

質問 作物の作付けをしない遊休農地が、中山間地だけでなく、ここ数年平地部にも見受けられる。対策が必要では。

農業委員会会長 農地パトロールや委員によるあっせん活動などの積み重ねにより、遊休農地の拡大防止に努めていく。

質問 羊の放牧による遊休農地の活用を広げるために、市の支援策を市内全体へ周知することが必要では。

市長 羊は中山間地域における急な傾斜地の管理に有効であり、雑草管理の面でも全市的に広がるような取り組みに努める。



遊休農地の活用と対策を



菅原 明 議員
日本共産党



防災行政無線の整備を

質問 衣川地域の地域住民組織が、防災行政無線の整備について署名行動を行い、1811筆の署名を携えて市長に要望書を提出した。地域住民の思いを重く受け止めて、早期に整備を行うべきと考えられているが伺う。

市長 合併前に防災行政無線が設置されていた経緯があり、必要性に関する声が寄せられていることは承知している。

しかし、導入費用や維持管理、更新に要する経費を含めた費用対効果を総合的に勘案した結果、新たな整備は難しいものと判断している。



整備の声が寄せられた防災行政無線



飯坂 一也 議員
公明党



公共施設におけるバリアフリー化の推進を

質問 公共施設におけるバリアフリー化の状況を伺う。

市長 高齢化、利用者の多様化などに応じ、階段手すりの設置や多目的トイレの整備などの改修を実施している。

質問 施設ごとに状況が違う。例えば、奥州市文化会館においてはエレベーター等の整備が必要ではないか。

市長 大ホールの3階までのエレベーターの整備は、利便性の向上という面からも課題として捉えている。優先度や必要性を考慮しつつ、検討を進めていく。


学校図書館の蔵書データベース化を

質問 読書活動の推進を図るために、学校図書館における蔵書データベース化は必須のものと考えられる。導入すべきと考えられているが。


教育長 令和6年度以降、導入に向けた予算要求をしている。早期の導入に向け、引き続き取り組みを進めていく。



より一層の読書活動の推進を（前沢中学校）



高橋 善行 議員
奥和会



上水道の現状と課題は

質問 上水道の現状と課題について伺う。

市長 令和9年度の料金改定は経費縮減等の効果により現行料金の据え置きを上下水道事業運営審議会へ提案する予定。

質問 未加入世帯への対応は。

市長 4月からPFOS、PFOAが水質基準に加えられ、安全管理体制が厳格化される。水道の安全性、利便性を周知し加入推進に努めていく。

産業動物獣医師の確保は

質問 産業動物獣医師の確保に向けた考えは。

市長 獣医師は新卒者の就業減少や、現役獣医師の高齢化、廃業などに伴い減少に拍車がかかる状況となっている。

獣医師の確保は市独自の取り組みではなく、県計画に基づき関係機関、団体等と連携した広域的な取り組みが必要と考えられる。



動物福祉の点からも獣医師はとても大切な職業です



小野 優 議員
新興会



震災の経験や教訓を次世代に

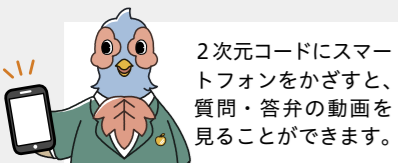
質問 東日本大震災から15年を迎え、震災を知らない世代への防災教育の在り方が問われている。これまでの取り組みと今後の継承の方向性について伺う。


市長 震災後は復興教育プログラムに基づき各校で取り組みが進められてきたが、市としての関与は十分とは言えない面もあった中、防災士会への委託により出前講座等を実施してきた。今後は学校・地域・関係団体の連携を強化し、子どもから大人まで共に学ぶ体制づくりを進める。

教育長 復興教育の理念の下、教科や総合学習で防災を位置付け、伝承施設訪問や体験活動を実施してきた。震災の記憶の風化を防ぎ、教訓を次世代へ継承することが重要と考える。今後も家庭・地域と連携し、防災意識の定着と実践的学びの充実を図っていく。



今年度実施した小学生のための防災教室の様子





佐藤 美雪 議員
日本共産党



学校給食の完全無償化への取り組みを

質問 4月から小学校給食費の抜本的負担軽減策が実施されるが、中学校に関しては制度化されていない。早期の実施と完全無償化への取り組みが必要ではないか。

教育長 小中学校合わせて完全無償化には約2億5千万円の財源が必要となる。中学校給食への支援拡大について県などを通じて国に要請を続けていきたい。


安心して子どもを産める体制の強化を

質問 県立中部病院の産科医が減ったと聞いた。分娩受け入れ体制が厳しい状況なのでは。また、妊婦の不安に 대응する相談体制の強化が必要ではないか。


市長 一時的に医師が減員しているが、岩手医大付属病院などから支援体制を整えている。従来の相談体制と合わせてオンライン相談システムをトータル導入している。24時間専門家に気軽に相談できるツールとして来年度から本格実施していきたい。



妊婦に寄り添い、子育てしやすいまちへ



佐藤 正典 議員
奥州ノース



赤字が拡大している病院事業を見直すべき

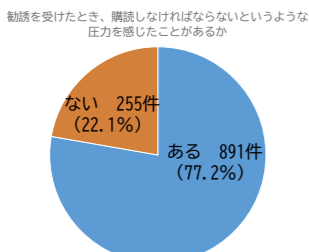
質問 わずか2年で約2倍の30億円に赤字が拡大している。診療報酬が改定されても影響は少なく赤字構造は何も変わらない。医師招へいに関する公的文書はあるか。

病院事業管理者 経営改善は喫緊の課題と捉えており、引き続き検討を進める。医師招へいに関する文書の取り交わしは特にないが、文書の有無に関わらず連携できるように取り組んでいく。

庁舎内の中立性が保たれていないのでは

質問 政党団体は政策に直接関与し影響を及ぼすにも関わらず、政党機関紙を庁舎内に持ち込むことがよしとされている。基準や文書はあるのか。また、責任者は誰なのか。

市長 一般紙と政党機関紙を明確に区分する根拠は現行法上存在しない。また、基準や文書化されたものは特になく。管理責任者が適正に判断、対応している。



政党機関紙の購読動向に関するアンケート調査（川崎市 2003）より



瀬川 眞清 議員
日本共産党



国保税の県統一に向けて十分な説明を

質問 国保事業の財政調整基金の取り崩しの結果は上振れになっている。精査すべき。

市長 被保険者の課税所得について税収が令和6年から増加がみられ、財政見通しと比較し、税収が上振れしている。県の運営方針が見直されるのに合わせ、市でも検証していきたい。


子どもの均等割減免制度の拡大の見直しは

質問 国保税の子どもの均等割の減免制度の進展について伺う。

市長 子育て世代の負担軽減の観点から、未就学児に対する均等割の軽減制度は全国一律の制度として既に実施されている。さらなる制度の拡充については、国において軽減対象を高校生世代まで拡大し、令和9年4月の実施を目指す。4月の検討が進められている。



子育て世帯のさらなる負担軽減の実現を



西野 直美 議員
奥州ノース



市民参加の在り方は

質問 パブリックコメントが0件の案件もあり、周知方法と課題認識について伺う。

市長 応募0件の案件については周知不足と認識しており、制度説明や方法改善を進める。

誰一人取り残さない教育施策に

質問 学びの多様な学校設置やニーズ調査、民間連携の考えは。

教育長 既存の支援体制を充実させる。現時点で特別校の検討はしていない。二一把握は検討する。

特別職公用車の選定ガイドライン策定は

質問 ガイドライン策定にあたり高級車選定について市民感覚を反映させる考えと公開予定は。

市長 安全性やコスト等を踏まえ内部の運用基準として策定する。市民意見募集や内容公開は予定していない。



特別職公用車のマッサージ機能付きシート



菅野 至 議員
奥州みらい



過疎地域における今後の見直しと対応は

質問 過疎化の現状と要因を踏まえ、過疎地域の生活基盤を維持するための対策と、具体的事業の計画・実行について伺う。

市長 江刺・衣川地域については過疎指定を受けており、人口減と高齢化が深刻。出生数減と若年層流出を要因と捉えて、拠点づくりと交通網整備による生活基盤の確保が重要である。今後はサービス水準を検討し、財源を組み合わせた住民主体の事業実施と、若年層を地元に戻させるための対策を講じていく。

農業振興ビジョンの総括と次期方針は

質問 本市農業振興ビジョンは、令和8年度が最終年度であるが、その総括と、次期ビジョンの方向性について伺う。

市長 現農業振興ビジョンは、これまでに中間評価や見直しを実施してきた。その結果、担い手確保を最大課題とし、次期ビジョンは生産基盤を中長期で整え、実効性ある計画として策定していく。



現農業振興ビジョン。次期ビジョンの策定に期待



及川 佐 議員
奥州みらい



生活困窮世帯の子どもへの学習支援は

質問 生活困窮世帯の子ども支援は急務であり、教室型支援の早期実施を。

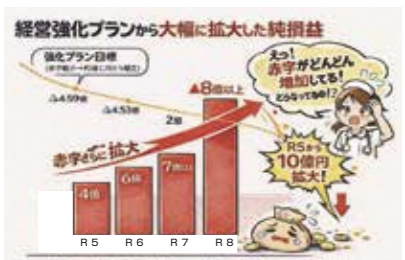
市長 必要性を認識し、二一把握とモデル実施を検討する。

市立病院の経営強化プランの見直しを

質問 経営強化プランと現状が乖離しているが、新医療センター整備の妥当性と責任についての考えは。経営強化プランの見直しが必要ではないか。

市長 市立病院の経営の責任については管理者主体だが市も責任を持ち、計画を前提に経営見直しを精査し検討する。

病院事業管理者 医師確保や機能見直しで改善を図り、状況を見て検討を行う。



※5 教室型支援

学習・生活支援事業を、場所や時間を明確にし子どもを集めて実施する方式。運営する側のスタッフの人員確保がしやすい、参加者同士の交流が生まれやすいなどのメリットがあるが、教室に通うための移動時間や交通手段の確保が困難な場合もデメリットとして想定される。



※4 財政調整基金

市の貯金にあたる積立金のこと。年度によって違う収支のバランスを調整する役割があり、財源に余裕があるときは積み立て、不足するときは取り崩しを行う。



2次元コードにスマートフォンをかざすと、質問・答弁の動画を見ることができます。



今野 裕文 議員
日本共産党



特別養護老人ホームの整備状況は

質問 先の議会で整備の方針が示されたが、進捗状況について伺う。

市長 令和6年度は、既存施設の転換で19人分を増床、7年度は水沢で60人分、江刺で60人分のユニット型の創設を進めている。

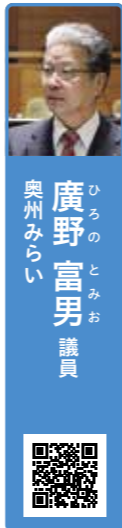
中小農家の支援策の充実を

質問 この間「検討する」とされている平泉町で実施している「営農継続農業機械支援事業」を奥州市でも行うことについて伺う。

市長 物価高騰で農業用機械も価格が上昇しているので、営農継続に向け、国の交付金を活用した機械購入の支援について新年度補正予算に盛り込む。



兼業農家でも一通りの機械が必要



廣野 富男 議員
奥州みらい



江刺市街地開発の見通しは

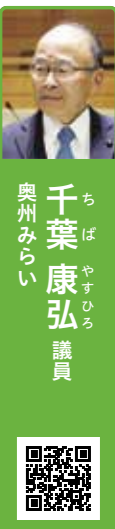
質問 江刺市街地エリア開発の見通しは。

市長 江刺市街地はフロントエリアパークIIへの企業立地を契機に1400人の雇用創出が見込まれ、既に民間賃貸住宅等の建設が盛ん。このチャンスを生かし、子育て機能、文化機能を持たせた官民連携による複合施設を建設。マルシェや賑わい創出イベントに活用できるエリアの整備や宿泊施設の誘致など官民連携によるまちづくりを進める。複合施設の整備・運営等に地元企業が参加しやすい仕組みを工夫したい。

整備までの7年間、江刺地域の文化芸術活動等の支援として、ヒロノ福祉パークや江刺総合支所多目的ホールを利用しやすい環境づくりに努めたい。公表されている整備基本計画（中間案）では複合施設整備概算費約21億円を想定、整備計画策定を経て、事業実施期間を令和10～14年と見込む。



複合施設整備計画 断面図（モデルプラン）



千葉 康弘 議員
奥州みらい



クマから市民を守る対策の充実を

質問 クマの市街地侵入への対策の検討状況について伺う。

市長 やぶの刈り払いなどといったゾーンングですみ分けを図るほか、放置果樹等の誘引物の除去について優先的に考えていく。緊急銃猟は実施可能な状態まで準備が進んでおり、熟度を高められるように努めていく。

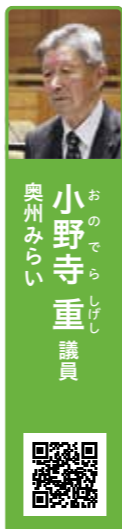
ハートバスの柔軟な運行による利用促進を

質問 前沢ハートバスの利用者が前年と比較して2割減の状況とのことだが、どう改善していくのか考えを伺う。

市長 利用者数だけでなく持続可能で利用者に配慮した運行を目指す。運行方式見直しから1年が経過し、何らかの手法で利用者の意向調査を検討したい。使いやすいと運行事業者の確保を両立させつつ、より良い運行の在り方を引き続き検討していく。



今こそハートバスの利便性向上を



小野 寺重 議員
奥州みらい



奥州万年の森の整備を

質問 15回植樹をしたが見るも無残な状況。太陽光発電の地代なども活用し、しっかり整備、管理すべきと思うが考えについて伺う。

市長 奥州万年の森実行委員会との話し合いのほか、企業の参画なども呼び掛けていく。

市の道水路の維持管理の徹底を

質問 白山宮内道路での2件の死亡事故は、雑草が伸びて見通しが悪かったのが原因。道路管理者がしっかり除草などの管理をすべき。

市長 通行に支障が出ると判断した場所は直営で対応する。道路愛護奨励金も見直す。

白鳥館遺跡周辺の治水対策の推進を

質問 白鳥地区の治水対策が進まない。史跡よりも被害が想定される地域民の生命、財産を最優先とし強力を進めるべきでは。

市長 国土交通省と文部科学省に対し、引き続き必要な予算の確保と早期事業化を強く要望していく。



白鳥地区の治水対策を

奥州市議会議員政治倫理条例を制定しました



市議会では、議員が市民から信頼される存在であることがとても大切だと考えています。そこで、「奥州市議会議員政治倫理条例」を制定しました。この条例は、議員が市民の代表、市民全体の奉仕者として、公正で誠実に行動するためのルールを定めたものです。お金や立場を利用した不正を防ぎ、市民に開かれた議会を目指します。高い倫理観を持ち、市民の声を大切にしながら、誰もが安心して信頼できる市政を運営していくため、議員一人ひとりが誠実かつ公正にその職務を行っていきます。

岩谷堂高校へおじゃましました



1月14日、議会広聴広報委員会のメンバーは、岩谷堂高校2年生の皆さんと、パネルディスカッションを行いました。

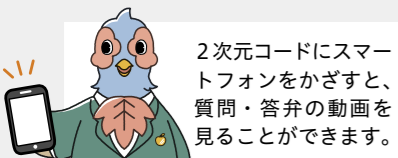
3年次の卒業研究として「地域活性化」を選択したことから、2年次の現段階で考えた活性化案について、議員が質問や意見を述べ、生徒の皆さんがそれに答えるという模擬議会風に行いました。廃校活用提案「学びの拠点」構想などの具体的プレゼンテーションによる議論も行われ、来年ブラッシュアップされた活性化案の完成が期待される取り組みでした。

※6 営農継続農業機械支援事業

農業者の高齢化や資材高騰、作物価格の下落などにより、農業者が農業機械更新時に離農しないよう、機械の購入・更新費用を補助する事業。

※7 道路愛護奨励金

地域団体による市道の除草や清掃、除雪などの活動に対し交付される奨励金。1行政区あたり年2万円が限度。地域住民による自主的な道路管理を支援し、安全な通行の確保と地域の連帯感を高めることを目的としている。



2次元コードにスマートフォンをかざすと、質問・答弁の動画を見ることができます。